



# アクテノン

NO. 58

名古屋市演劇練習館機関紙

## エッセイ

### ■「愛してるのか、憎んでるのか」

鹿目 由紀 (劇団あおきりみかん主宰・劇作家・演出家)



名古屋市民芸術祭2007参加  
「漂流裁判」  
愛知県芸術劇場小ホールにて



「ギャル〜閉じません〜」  
'08年3月7日〜9日  
名古屋市中村文化小劇場にて

いまだ、まったく分からない。  
芝居のことである。まったく分からない。好きな  
のかも分からない。嫌いなのかも分からない。愛し  
てるのかも分からない。憎んでるのかも分からない。  
いまだミステリアス、いや、これからもずっとミス  
テリアス。ふふふと笑いながら軽やかに逃げてゆ  
く白いドレスのオンナ風である。

けれど、なぜか続けている。

芝居のことである。なぜホンを書き続けるのか。  
なぜ演出し続けるのか。なぜ時間の大半を注ぎ込み、  
なぜ時に恋愛などを犠牲にし、なぜ劇団員とぶつ  
かったり殴り合ったり(いや精神的な意味です)、  
それ以外の人とやり取りしたり刺激物を貰ったり、  
お客さんと触れ合ったりしながら。なぜ。

この、なぜの嵐に「好きだから」という言葉では  
全然答えられていない。そもそも初めから「大好き  
よ、うふ」と明言したつもりはない。いざとなつたら  
「あんたとつき合うと言ったつもりはないわよ」と  
きっぱり言ってやれる関係である。私はバスケ  
部に入るつもりだったのだ。それなのに、なぜかこ  
うなっているではないか。なぜか劇団も今年で10  
年目に突入したではないか。なぜ。

と、いまだ分からないことだらけだが、昔から一  
貫して感じる想いがある。それは、続けるからには「深  
化しなければならない」ということ。もちろん進化  
は簡単にできるものではなく、そもそも向いてい  
るのかも分からずにやっているのだから当然である。

けれど、ひとつだけ言えるのは、この「深化しなけ  
ればならない」と思うココロを無くしてしまうのが、  
一番良くないということ。このココロを無くしたら、  
原動力そのものを無くしてしまうのだから。

数年前から、あおきりみかんは「喜劇」を上演す  
る劇団と銘打っている。それは、決意表明だった。「深  
化しなければならない」と思う自分たちに対する  
決意表明。「コメディ」から「喜劇」とすること  
により、より人間や、その関係性から生まれる笑いを  
基軸にした芝居を上演したいという欲求が明確に  
なり、今日の劇団を突き動かしている。

おかげさまで、深化しているかは分からなくとも、  
常に新しい風を感じながら、続けられているのは  
確かだ。実際ここ数年、劇団員それぞれが幾多の方  
向から受けた風は、色んな吹き方で、新たな「深  
化しなければ」という気持ちを運んできている。次  
回公演の「パレード旋風が巻き起こる時」では、ひ  
とつのシチュエーションで起こる喜劇という既存  
枠をはずし、色んな意味で新たな試みをしようと  
しているのも、その過程に違いない。

これからも、好きなのか嫌いなのか愛してい  
るのか憎んでいるのか分からないものを、続けてい  
くことだろう。いや、続けていくために想い続ける  
だろう。いや、想い続けるから続けていくのだから。

そういうわけで、原動力ある限りは、けっして止  
まることができない劇団あおきりみかんに、これ  
からもご注目くださいませ。

## トピックス

### ■「演劇に惹かれた理由」

構 久夫



撮影：構 久夫

'07 アクテノンシニア演劇部発表会  
「ねこ・こんさるたんと」  
名古屋市中村文化小劇場にて

今から二年半ほど前、撮影旅行から帰宅してレ  
ビのニュースを見ていると、突然今まで見た事の  
無い衝撃的なシーンが飛び込んできた。

それは円頓寺商店街で行われた市街劇「箱男箱女」。  
今週も有るなんてラッキー、最終日におじゃました。  
「写真撮ってもいいですか？」と一声かけると、大  
変心地いい返事「良いですよ、ありがとう。」その心  
地よい応対に甘え、すごく邪魔をしてしまった。

あまりにも見たことの無い刺激的なシーンの連  
続で感激。「ずいぶん迷惑をかけたなー。」後日写真  
を貰って頂く。

それをきっかけに双身機関さんからいつもお声  
をかけていただき、演劇やパフォーマンスの写真を  
撮影させていただいている。私の様な未熟者でも、  
催し物などの案内を頂き、アクテノンへも相変わ  
らずお邪魔している。

今まで演劇の撮影は、岐阜県の門和佐、福岡の村  
歌舞伎と長浜、米原、垂井の子供歌舞伎など、お祭

りや地域の催し物などが中心でした。

私と芝居の出会い、記憶では5歳位の時、夏にお  
寺の境内で行われた芝居だったと思う。

それぐらい縁遠い私が実に不思議、偶然のおかげ。  
何時も自分では、うまく撮れてしまう。(自分だ  
けの思い込み)何故だろう、やはり役者さんの眼力、  
演技力、そうだよなー。

最後に今年もアクテノンさんのご好意で写真展  
を開催させていただきます。

\* 構 久夫 写真展「NETSUEN」開催 !!  
期間：5月31日(土)～7月10日(木) 休館日(月)  
9:30～19:00(最終日は17:00まで)  
場所：名古屋市演劇練習館アクテノン  
1階資料コーナー 入場無料  
他ではなかなか見られない写真展に皆様ぜひ来  
館ください！

# アクテノン・シャワー

## ■ キャンドル演劇奨励基金の助成作品募集

キャンドル演劇奨励基金（メ〜テレ事業が平成5年に設定）が、平成20年度の助成作品を募集します。愛知県内に活動拠点を置く演劇団体の舞台公演が対象です。3作品を選考して、各30万円を助成します。募集の要項は下記の通りです。

1. 対象作品：愛知県内に活動拠点を置く演劇団体の県内舞台公演 3作品
2. 公演期間：平成20年10月1日～平成21年9月30日
3. 助成金額：1作品 30万円
4. 募集期間：平成20年7月18日（金）まで
5. 申込方法：所定の申込書を下記へ送付
6. 申込書の請求および送付先

〒100-6611 東京都千代田区丸の内1丁目9番2号 グラントウキョウ サウスタワー  
住友信託銀行 リテール企画推進部 公益信託チーム  
キャンドル担当 TEL 03-3286-8218

## ■ 定期利用の受付について

平成21年度(平成21年4月～平成22年3月)分の定期利用を次のとおり受付いたします。

- \* 受付期間／平成20年7月1日～15日(月曜日は除く。)
- \* 対象／演劇の練習
- \* 貸出施設／大練習室1・2、及び小練習室1(いずれも4階)
- \* 利用方法／利用年度を通じて、月2日以上15日以内(ただし、1週間につき3日以内、同一曜日、同一使用時間区分)、1日につき2区分以内。
- \* 使用料／平成20年9月末日までにお支払いいただきます。

## アクテノン利用団体紹介

- ①発足年 ②団員数 ③主な上演作品/会場(上演年) ④代表者名、住所、電話

### 音楽 座うたざ



こんにちは座うたざです。以前は「うた座」で活動していましたが、画数判断で今の名称に変更しました。その後、運勢が変わったかどうかはわかりません。領収書を書いてもらうときはよく「宇多田」に間違えられます。うたざは日本語のオペラをやっています。西洋っぽくないので歌芝居と説明したりすることもあります。喋るように歌うというのを目標にしておりまして、作曲家の林光さんや萩京子さんの曲を題材に稽古する日々です。歌役者(特に男性)を募集中です。

- ①1989年 ②14名
- ③ジョバンニとカムパネルラ/芸術創造センター('96) smile~いつの日かひまわりのように/アートピアホール('01) あまんじゃくとうりこひめ/うりんこ劇場('05)
- ④小栗久史 ☎090-2344-1514

**アクテノンに一言** 荷物預かりなどいつも急にお願いしてすみません。とても助かっています。計画性のある団体にいつかなれるようがんばりますので、今後もよろしくお願いたします。

### 演劇 M&D<sup>2</sup>(エム・アンド・ディー スクエア)



M&D<sup>2</sup>とは、Mather&Daughter(母と娘)Music&Dream(音楽と夢)という2通りの意味があります。本当の親子2組を含め、メンバーは12名。ゴスペル仲間がミュージカルを目指して結成し、この4月で1年になります。これまでに様々な地域で好評を頂き、15回の舞台を踏ませて頂きました。4月26日には、一周年記念ライブを予定しております。これからも私達M&D<sup>2</sup>は、魂の歌と踊りとお芝居で、見る人の心に生きる喜びとパワーを感じて頂きます!

- ①2007年 ②12名
- ③ M&D<sup>2</sup> こんさ〜とin阿久比/エスペランス丸山('07) M&D<sup>2</sup> こんさ〜とin尾張旭/尾張旭市福祉会館('07) 阿久比町文化祭/阿久比町公民館('07)
- ④天野 佐絵子

**アクテノンに一言** いつも無理を聞いて下さり、やさしく対応して下さる職員のみなさま、本当にありがとうございます。

## 公演のご案内

- ★アクテノンの利用団体の公演をご案内します。 ①会場 ②日時 ③料金 ④問合せ先

<b>眼鏡倶楽部 第4回目公演</b> (作 尾場サ太郎) 『赤い大地の上に立ち』	① ナビロフト(地下鉄鶴舞線原駅1番出口徒歩10分) ② 6月7日(土) 3:00 7:00、8日(日) 11:00 3:00 ③ 1,000円(前売・当日共) ④ ☎090-9944-8553(劇団) 大正の作家、島田清次郎のお話です。島田が眼鏡に興味のある方は特に観に来てください。
<b>TORIBEKOカンパニー</b> 第5回公演 『あこがれかずら』	① theater MOON(地下鉄東山線池下駅1番出口徒歩1分) ② 6月28日(土) 1:00 4:00 7:00、29日(日) 11:00 2:00 5:00 ③ 前売1,200円(当日1,500円) ④ ☎090-2922-6498(劇団) ヘルスで働くカサネは、服を脱がないことでプライドを保ち続けようとしていた・・・
<b>劇団あおきりみかん</b> 其の拾八 『パレード旋風が巻き起こる時』	① 愛知県芸術劇場小ホール ② 7月3日(木) 7:30、4日(金) 7:30、5日(土) 2:00 7:00、6日(日) 1:00 5:00 ③ 前売2,500円(当日2,800円)(学生割引有 詳しくは劇団へ) ④ ☎090-8075-0683(劇団) 見ると見られるの間で引き起こされる「内面的外向喜劇」。新感覚喜劇をどうぞ。
<b>天然求心カ アルファ</b> 旗揚げ10周年記念公演 『けれどスクリーンいっぱいの星』	① セツ寺共同スタジオ ② 8月29日(金) 7:00、30日(土) 2:00 7:00、31日(日) 1:00 6:00 ③ 前売1,200円(当日1,500円) ④ ☎080-1601-0500(劇団) 日常 VS 非日常を役者が体一つで演じる!10年目にしてパフォーマンスの原点に挑みます。



編集発行/平成20年5月25日(年4回)  
 (財)名古屋市文化振興事業団 名古屋市演劇練習館(アクテノン)  
 〒453-0841 名古屋市 中村区 稲葉地町1-47  
 TEL 052-413-6631 FAX 052-413-6632  
 ※この印刷物は、古紙パルプを含む再生紙を使用しています。

